

石川県埋蔵文化財センター 中期経営目標

(実施期間 令和5年度～令和9年度)

令和5年3月 策定

1 施設の設置目的

本県の埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存を行う拠点施設として、保護思想の普及啓発を図り、県民共有の文化資産として後世に引き継いで行くことを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

埋蔵文化財の発掘調査、研究や、出土品の整理、保存、記録、収蔵管理を一貫・継続して行うとともに、県民の埋蔵文化財に親しむ機会の提供によって、郷土の歴史を学び、文化財に対する関心と理解を深める場としての役割を担っています。

3 事業内容

(1)埋蔵文化財の発掘調査

記録保存や遺跡の保護活用のために必要な情報を得ることを目的として、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、地域の歴史・文化や社会の成り立ちを明らかにします。

(2)出土した文化財の整理及び保存

発掘調査により出土した埋蔵文化財(出土品)の整理、保存、分析鑑定作業とともに、それに調査所見や、遺跡、出土品の評価等の執筆を行い、報告書を刊行して、社会に情報の提供を行っています。

(3)埋蔵文化財の保管、活用、展示、研究及び保護思想の普及啓発

収蔵品の展示・公開、企画展の開催、古代体験のイベント実施や古代体験学習講座、埋蔵文化財に関する講演会、発掘報告会等を通じて埋蔵文化財の普及、啓発に取り組んでいます。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・埋蔵文化財センターは、平成18年度から指定管理者制度を導入し、県の施策を補完する県が設立した公益財団法人が施設を管理しています。
- ・施設の維持管理については、法令を遵守し、効率的、効果的に施設・設備の管理を行っています。また、来館者に対しては、新型コロナウイルス感染症予防対策を施すとともに、救急法講習会を実施するなど、安全対策の徹底を図り、快適で安全で安心して利用できる施設運営を目指しています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・年間を通して、本館ホール等を利用した企画展の開催など、展示内容の更新、充実

に努めるとともに、体験工房での古代体験メニューについては、学校、生涯学習等の団体、個人、家族連れを対象とするメニューを多様化し、内容の充実を図り多様な要求に対応できるよう努めています。

一方で、コロナ禍の中で、これまでの団体利用や家族連れなどを中心とした施設利用が大きく変化しており、施設利用が促進されるサービスの提供が求められています。

- ・学校や生涯学習施設等へ職員が出向き、古代の暮らしや歴史を学ぶ機会を提供する「出前考古学教室」、実際の発掘調査を体験する「親と子の発掘体験教室」を実施し、埋蔵文化財に親しんでもらえる機会を提供しています。
- ・県民向けの公開講座である「発掘報告会」、「まいぶん考古学講座」、「講座 考古学最前線」を開催し、広く埋蔵文化財の最新の研究成果、調査成果を紹介し埋蔵文化財の魅力を伝えて行く必要があります。
- ・利用促進のためには、上記の埋蔵文化財センターの取り組みを積極的に情報発信する必要があり、刊行物の作成やホームページを充実するほか、新聞・フリーペーパー、インターネットへの情報提供・掲載など、各種メディアを広く活用し情報発信に努めています。

(3) 施設運営の効率化について

- ・常にコスト意識をもち、光熱水費、消耗品費などの節約による、管理運営費の節減に努めています。
- ・施設、設備の管理については、保守点検、外部委託の見直しによる適正管理、効率的、効果的な節減に努めています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で1%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

※基準値は原則として過去3年平均

測定指標		基準値 (H29～R1平均)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R9)
① 入館者数		18,834人	18,950人	19,030人
② 利用者 アンケート による満足 度	利用者サー ビス	98.6%	95%以上	95%以上
	施設の維持 ・管理	99.2%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

① 施設の利用促進に向けた取り組み

- ・土、日、祝休日（年末年始除く）も開館し体験工房を中心に行う随時体験メニュー、期間限定メニューの更なる充実を図り、多様なメニューを体験することで、長時間体験者、リピーターなどの体験者のニーズに対応できるよう努めることで、入館者増の取り組みを強化していきます。
- ・引き続き、県内埋蔵文化財施設や博物館と連携し「石川まいぶん博士認定」に取り組むことで、小学生を中心としたリピーターを増やすとともに、更なる利用者を開拓します。
- ・閑散期対策として、人気の高い古代体験をミニ講座として複数回開催します。
- ・発掘現場における「遺跡現地説明会」を実施する中で、郷土の歴史を学び埋蔵文化財に対する関心と理解を深めていただいております。開催数を増やすことにより、県民参加の機会を増やすよう努めます。
- ・「出前考古学教室」においては、学校の要望に柔軟に応えるとともに、開催数の増加に取り組めます。
- ・上記、事業の強化により認知度の向上を図るとともに、ホームページによる情報発信の強化として、見やすさ、読みやすさや最新情報の掲載等を心がけ、積極的に情報発信を行います。また、各種マスメディアの活用により広報活動、情報発信を充実強化します。

② サービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・企画展示等については、できるだけ専門用語を使わず、分かりやすい図表や言葉で解説するよう努めます。
- ・利用者が安心・安全に利用できる施設運営を心がけ、施設内外の清掃、施設・設備の保守・点検や防災対策の徹底を図るとともに、職員の接遇の向上にも努めます。
- ・利用者のニーズ、満足度を把握するために、引き続き、利用者アンケートの調査を行い、利用者の要望に適切に対応し質の高いサービスの提供に努めます。
- ・ホームページでは、動画により、センターの紹介、企画展の展示内容や各種講座などを配信することにより、コロナ禍で来館・参加できない方々に対しても、情報発信を行います。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・常にエコ意識を持ち、繁忙期、閑散期に見合った節電、節水等の経費節減に努め、効率的、効果的な管理運営を実施します。
- ・施設利用者、地元の方々からの意見を活かし、地域貢献、社会貢献に努め、より多くの方々に満足してもらえよう努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

(単位:人)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
入館者	18,743	19,349	18,410	8,341	9,135
館外事業					
発掘体験教室	56	45	42	46	24
出前考古学教室	1,877 (33件)	1,878 (34件)	2,157 (39件)	2,205 (37件)	1,901 (40件)
まいぶん 情報発信	390	500	100	220	190
遺跡現地説明会	510	230	205	0	51
計	21,576	22,002	20,914	10,812	11,301

(2)利用者アンケート指標

(利用者サービス)

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
良い	81.3	81.5	78.0	83.3	87.6
概ね良い	17.3	17.9	20.6	15.3	11.0
計	98.6	99.4	98.6	98.6	98.6
やや悪い	1.1	0.6	0.4	1.4	1.4
悪い	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0

(施設の維持管理)

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2	R3
良い	75.1	79.5	80.1	90.1	83.6
概ね良い	23.7	18.7	17.4	9.9	16.4
計	98.8	98.1	97.5	100.0	100.0
やや悪い	0.9	1.2	1.3	0.0	0.0
悪い	0.4	0.6	1.3	0.0	0.0